

## 第113回『謳酔会』の記

開催 日時 平成20年1月10日(木)

場所新宿三井ビル54F[新宿三井クラブ]

♪♪年の初めの 例とて 終なき世の めでたさを

あぁ謳酔の旗立てて 祝う今日こそ 楽しけれ♪♪

平成20年、東進会役員会・学年幹事会との合同新年会。

謳酔会として初めて酒を酌み交わしたのは平成10年9月4日、それから今年ちょうど10年目の記念の年である。

小生の手帳には同年7月28日、玉淀にて東進会の暑気払との記載があり、そう、確か、その席上で謳酔会発足の提案がなされたと記憶している。

小生は「なんでも言い屋」なので、会の趣旨には真っ先に賛成、しかし、会の名称については「謳酔会」に通じるからいかなものかと発言したが、小生の意見など歯牙にも掛けられなかった、それが今は会長代行。

ともあれ、東進会役員・学年幹事会とは、かくのごとく決定機関と活動体との関係、表裏一体のものであり、今さら共催というのもおかしいが、まあ、その建前のお陰で、通常ご参加いただけない方々のご出席を賜ったことは非常に喜ばしいことである。



会場の新宿三井クラブは、昨年1月の当会

100回記念祝賀会の開催された場所、今回の新年会も29年卒の池田三男さんのご紹介で実現したものであり同氏に心から感謝する次第である。

西新宿は高層ビルの街、さぞかしコンクリートの集積とお思いだろうが、この新宿三井ビルの周辺の歩道の花壇には各種の山野草他の植物が植えられており、イカリソウ、ユキノシタ、ヒガンバナ等々、平成8年当時その種類は70種にも及んでいた。ビルの管理者の方々の奥ゆかしさには、心から敬服したものであったが、それにしても、数える方はよっぽど暇だったのであろう。

会は大野東進会会長、宮崎幹事長の挨拶、小生の乾杯の音頭で始まる。参加者21名、あちこちにたちまち小グループ、在学中はほとんど同様の生活を過ごしていた仲間達がその後それぞれ異なった経験を刻んできている、中には暮れから正月にかけて年賀状の手配にご心労なされた郵便局長さんもおられ話が弾む。

料理の味は素晴らしく、種類も量も大満足、飲み物類も、ビール、赤ワイン、白ワイン、ウィスキー、そして日本酒まで、「ちょっと待て飲み過

ぎるなよ」と思うが、世話人が小生ではこれも目くそ鼻くその類か。

しかし、飲み過ぎるのは粹ではない、嘔酔会にしてはいけない、季節をたのしみ、各地の郷土料理を愛で、世界の名だたる料理を味わう、それもリズナブルな値段にてと、正月だけの似非信者、新年にあたり八百万の神々に誓ったことであった。 (31年露木 修記)

## ◎本日の料理

### 一、冷製料理

- \*田舎風パテとコルニッション
- \*サーモンマリネのサラダ仕立て
- \*魚介のエスカベージュ
- \*生ハムとフルーツ、サラミ、チーズ
- \*スモークチキンのサラダ
- \*タコのジェノバ風

### 二、温製料理

- \*ポークスペアリブの蒸し煮
- チャイニーズ風
- \*若腿肉のカチャトラ
- \*ソーセージと白菜の、ポトフ仕立て
- \*サーモンムニエル、レモン、ケッパー、ハーブ
- \*魚料理
- \*野菜入りカレー、白飯

### 三、その他

- \*茶そば
- \*ケーキ
- \*カクテルフルーツのコンポートとジェリー

## ◎本日のお酒

### 1、ビール

### 2、日本酒

### 3、ワイン

- \*白ワイン
- \*赤ワイン

### 4、ウィスキー

## ◎出席者

坪井 洋 (昭27)、蓮 幸治 (昭31)、安井 恵子 (昭41)  
大野 金一 (昭31)、山田 晴康 (昭31)、宮崎 好廣 (昭43)、  
菊池 清 (昭31)、横手 一郎 (昭31)、中島 穰 (昭43)  
酒井 隆二 (昭31)、沼里 征二 (昭33)、小野 幹夫 (昭43)  
佐藤 忠平 (昭31)、北川 正之 (昭37)、木村 繁夫 (昭43)  
高野 久弘 (昭31)、長戸 琴 (昭41)、幕内 邦夫 (昭43)  
露木 修 (昭31)、久松 信明 (昭41)、酒井 学雄 (昭56)  
[注]中村 信秀氏 (昭31) は急用のため欠席 (会費支払) 以上